

令和3年度補助金等評価表

1補助金の概要

補助金名称	サイエンスボランティア旭川負担金										
補助金の性格	団体への運営費補助					始期	H16		終期	-	
予算事業名	科学館管理費					(事業コード)		051212			
所管部署	社会教育部 科学館					電話番号		内線448			
交付先(団体,個人等)	サイエンスボランティア旭川										
交付目的	(対象) 誰,何に対して		科学館で活動するサイエンスボランティア旭川								
	(意図) どういう状態にしたい		科学館の運営や事業活動を支援してもらうことにより,自然科学や技術に関する各種普及啓発活動を行う。								
対象事業等の内容	科学館の運営や事業活動の支援,会員間の連絡調整や連絡誌の発行,会員の研修・人材育成,その他これらの事業に付随する業務。										
積算方法	会員が科学館業務に従事した場合に交通費等を支給するための費用,サイエンスボランティア旭川の事務局業務に係る費用,ワークショップ等科学館の事業支援に係る材料費の合計で,予算の範囲内。										
事業量指標と過去5年間の実績	① 科学館支援事業回数					②					単位:
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	単位:
	57	765	138	522	474						
成果指標と過去5年間の実績	① 科学館支援事業従事者数					②					単位:
	H28	H29	H30	R01	R02	H28	H29	H30	R01	R02	単位:
	6,596	1,023	2,916	3,687	2,603						

2収支状況等

単位:千円

		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
補助対象事業等の収支状況	前年度繰越	0	0	0	0	0
	市補助金	5,000	5,000	4,879	4,472	5,000
	協議会負担	0	0	0	0	0
	その他					
	収入合計	5,000	5,000	4,879	4,472	5,000
	市補助率(%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	支出合計	5,000	5,000	4,879	4,472	5,000
	うち食糧費,交際費					
市負担額	次年度繰越	0	0	0	0	0
	一般財源	5,000	5,000	4,879	4,472	5,000
	特定財源					
	人件費	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	その他事務費	721	728	737	737	747
合計	5,721	5,728	5,616	5,209	5,747	
受益対象者数	112	103	99	99	90	
補助金単位コスト(単位:円)	51,080	55,612	56,727	52,616	63,856	
適格性	共通事項	◆ 支出根拠が法令,条例,規則,要綱等に基づいている ◆ 支出目的,支出範囲が法令の規定に抵触しない				
	団体の運営,会計処理等	◆ 交付申請等が定めたとおりになっている ◆ 会計処理が適正である ◆ 設立目的,事業内容等と補助目的との整合性がとれている ◇ 決算における繰越金(剰余金)が補助額から判断し,妥当である 会計処理は,「サイエンスボランティア旭川事務規則」において会計処理の規則を定め,事務局長の下行われている。また,総会時に監査役員から会計監査報告を受けていることから,適正に処理されている。負担金については概算払であり剰余金が発生した場合は精算時に戻入されるため繰越金は発生しない。				

※人件費(正職員分)は,平成29年度7,205千円,平成30年度7,282千円,令和元年度7,369千円,令和2年度7,366千円,令和3年度7,466千円で計算。

3個別項目に対する評価

項目	チェック項目等	評価		
1 補助金交付基準との適合性	(1)対象経費	◇ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外 ◆ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	■ 合致する	
		◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する	
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない	
	(2)受益者負担	◇ 適正な負担を設定 ◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定 ◆ 上記以外	□ 合致する ■ 合致しない	
		◇ 団体 1/2以内 ◇ 個人 1/3以内 ◇ 個人等に対する利子補給 5%以内 ◆ 上記以外	□ 合致する ■ 合致しない	
	(4)見直し期間(終期設定)	◇ 同一団体に対する補助, 4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。) ◇ 奨励目的の補助, 終期を設定 ◆ 終期末設定で, 補助継続4年以上	□ 有(4年未満) □ 有(4年以上) □ 継続4年未満 □ 同一団体, 奨励目的補助ではない(対象外) ■ 同一団体補助だが, 見直し設定していない □ 奨励目的補助だが, 終期を設定していない	
		(5)交付規程(支出根拠)	◆ 交付規程は制定済, 選択基準に合致, その他必要な規定は網羅 ◇ 上記以外	■ 合致する □ 合致しない
	(6)支出を証する書類の添付	◇ 実績報告時, 支出証拠書類提出有 ◇ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施 ◆ 実績報告時, 書類大量で, 抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが, 実地調査は未実施(ただし, 不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外	□ 合致する(※左欄2項目とも適合) ■ 概ね合致する □ 合致しない	
		2公益性	(この補助金の公益性を, 具体的に記入する) 常設展示室の案内解説や科学館事業の支援により, サービスの向上・事業の充実化が計れており, 来館者として訪れる不特定多数の市民に対し受益機会が一般公開されている。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 公益性が高い □ 公益性が高いとは言えない
		3必要性	(この補助金が必要である理由を, 具体的に記入する) 科学館の常設展示室運営業務を支えるマンパワーとして代替不可の組織であり, 補助事業に類似したサービス等を提供する団体等がない。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない
	4効果	(この補助金によってどのような効果があったのかを, 実績等に基づき具体的に記入する) 常設展示室利用者:45,552人, レファレンスルーム利用者:9,076人, ボランティア支援を受けた科学館事業の参加者:1,395人が補助事業によるサービスを受け, 科学館の利活用拡大・事業実績に大きく寄与している。	(左の内容を踏まえての評価) ■ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない	
	5その他	「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について, 記載し説明すること。 科学館の常設展示室の案内解説員・指導できる者をボランティアで常駐させることができる団体として, 科学館の設立当初から市民との協働という政策的な意義で事業支援しており, 運営経費の全てを負担金でまかなっていることから, 受益者負担, 補助率及び見直し期間を設けることはなじまない。		

4平成28年度行政評価への対応状況等(行政評価)

補助金名称(当時)	サイエンスボランティア旭川負担金
(1)行政評価の結果	理由, 改善, 見直しの方向
見直し	後継者不足が課題となる中, ボランティア活動の幅を広げるなど, モチベーションの向上を促す取組を検討し, ボランティアの確保を図ること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
平成29年度	ボランティアの新規入会を目指し, 広報するほか, 個別に入会を募っている。また, 会員に対しては文書などで積極的な活動を促している。

(その他の見直し)

見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	後継者不足が課題となる中, ボランティア活動の幅を広げるなど, モチベーションの向上を促す取組を検討し, ボランティアの確保を図ること。
解決に向けた取組	「学生の科学展」(R1~)等, 高校生・大学生が活躍できる事業を実施しボランティア獲得に寄与する。

6全体的評価

評価	結果	理由, 改善・見直しの方向
1次評価	継続	ボランティア活動は科学館の事業活動に大きな影響を及ぼすため継続とする。
外部評価		
2次評価		

結果欄:継続(現行どおり), 見直し(金額や金額の増減以外の見直し), 終了(自然減を含む)

参考資料

1 補助金の名称

補 助 金 名 称	サイエンスボランティア旭川負担金
-----------	------------------

2 類似・関連事業の状況(旭川市・国・道・民間等)

事 業 名	なし	実 施 主 体	
概 要			
上 記 事 業 と の 統 合 の 可 能 性 (市 単 独 事 業 の 場 合)	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		
説 明			

3 他市の実施状況

市の名称	事業内容・積算・対象者など
宮崎市	名称:ジョイフル・サイエンス・クラブ助成金 内容:宮崎科学技術館の運営や事業活動の支援を行うボランティア団体である「J・S・C(ジョイフル・サイエンス・クラブ)」の事業に対し、助成を行っている。 積算:材料費, 講師謝金代, 交通費等 R2年度:350千円
八王子市	名称:サイエンスドーム八王子(八王子市直営) 内容:ボランティア交通費 積算:ボランティア活動を促進するため、交通費相当分として日額500円を支給 R2年度:12,500円

注: 他の中核市や道内主要都市における類似事業について、その内容をできるだけ2つ以上記入すること。別紙による添付可。